

# 論文審査の結果の要旨

氏名 宮澤尚里

本論文は、紛争後の国において環境資源をどのように管理することが有効であるかを、東ティモールを事例対象国として、コミュニティの観点から検証することを目的としており、全6章から構成され、その概要は以下に記すとおりである。

本論文では、東ティモールの三事例を検証・分析している。まず、第一章では、紛争後の状況における環境問題の特異性を分析し、紛争そのものにより環境資源はどのような影響を受けているか、について検証している。特に環境資源自体に直接的な影響を及ぼす要因と、管理体制などの社会的側面からの影響を分類し分析を行っている。

第二章では、紛争後における環境問題に取り組むにあたり、従来広く採用されていた施策の有効性・問題点を分析している。具体的には、東ティモールにおいて国連や政府が実施してきた環境管理政策は、ほとんど効果を生み出していないことを明らかにしている。その原因を分析した結果、現場の実態と政策との隔たりがあり、また法の執行上の問題、多くは構造的な人材不足の課題等が要因として提示されている。その一方で紛争前及び紛争中に地域で維持されてきた、地元の慣習法が存続しており、それらに基づき社会秩序の安定性が保たれてきていることを論じている。国の独立後に政府が効果的な環境政策を立て、関連課題への有効な対策をとることに時間を要していた一方で、コミュニティレベルでは「Tara Bandu」と呼ばれる慣習法を用いて、旧来の手法で環境資源管理を行う自主的な動きが復活してきているプロセスを分析している。このプロセスを経て、環境資源管理が緊急に必要とされる紛争後の時期において、「慣習法」の役割が社会・政治的に重要となることを明らかにしている。実際に、政府は独立してから国の政策として、徐々に慣習法を融合させる政策をとり始めてきており、その背景には、コミュニティの社会形態の特徴とあわせて、紛争後における国家という状況下で、慣習法の位置づけが変化してきた要因を分析している。

第三章では、紛争後の国家における環境問題の主要課題となっている廃棄物管理課題を取り上げている。紛争により廃棄物管理システムが大きく影響を受け、紛争後の社会ではごみの扱い方が平常時の社会とは違いがあるのではという仮説を立て、人々の廃棄物管理に対する意識と行動を明らかにすることを目的とし、インタビュー・アンケート調査を行っている。その結果、明らかにしたことは以下の点に集約できる。第一に、平常時の社会ではごみとみなしているものも、紛争後の資源が限られる中では貴重な資源となる、第二に、政府や企業によるリサイクルシステムが機能しない中で、コミュニテ

ィが資源を再活用している、第三に、『特定の種類のごみをあえて収集しない』という管理手法も選択肢となり得る、という点を明らかにしている。

第四章では、紛争後の環境管理に対する国際支援につき、国連による支援を事例として分析を行っている。紛争後の環境管理支援事業の特徴を抽出し、その成否に関わる要因を特定しており、失敗の要因としては、植林は成果をもたらすまでに長期間必要であり、緊急性の点でコミュニティにとっては優先順位が高くはなかったことが、一要因として提示されている。さらに、参加型を突如に導入したことやコミュニティグループに対する不信感が失敗要因として分析されている。住民にとって、基本的欲求を満たす緊急な課題（食糧・水の確保・収入源の確保）が植林よりも高い優先順位であったため、それらをターゲットとして結びつけた、苗木作りの活動は高い成果を生み出したことを分析している。そして、苗木作りをきっかけにコミュニティグループが形成され、収入源ができ、メンバー間で貯蓄・貸し借りも始め、コミュニティ回復の一助となったことを明らかにしている。さらに、住民らがコミュニティの連携を取り戻したい、というモチベーションが高まってきた時期に、コミュニティの再構築の手掛かりをプロジェクトが提供したことが成功の一要因となったことを論じている。そして、紛争後の環境管理支援においては、コミュニティ回復の要素に取り組むことが重要となることを示唆している。

第五章では、本研究の結論として、研究から得られた知見と考察が提示され、第六章では、具体的政策提言を、今後の研究の課題とあわせて述べている。

本研究は、紛争後の混沌とした国における、環境資源管理の在り方に、新しい視点と改善策を示しており、本専攻の博士課程の修了要件を満たすに足る内容のものであると判断する。

なお、本論文第一章は、Zafar Adeel との共同研究に基づき分析を行っているが、論文提出者が主体となって新たな分析及び検証を行ったもので、論文提出者の寄与が十分であると判断する。

したがって、博士（国際協力学）の学位を授与できると認める。